
ポスター No.95

駅はないけど、笑みがある 「お互いさま」でつながる 武蔵村山

武蔵村山市社会福祉協議会 武蔵村山市南部地域包括支援センター

【説明】

- ・武蔵村山市では、『子どもからお年寄りまでだれもが垣根なく「お互いさま」でつながるまちづくり』をスローガンにしています。
- ・武蔵村山市は東京都内で唯一、駅のない市で交通の便は悪いこともあり、市内に歩いて通える「お互いさまサロン」を2025年までに70か所を作ることを目標にしています。コロナ禍ではありますが、みんなに会いたいという思いがあり、感染対策をしっかりとしながら、開催しているサロンも多く、「笑み」が広がっています。
- ・サロンの有志のかたを中心に、生活のちょっとした困りごとを支え合う「生活支援」の仕組みづくりが始まりました。現在3つの生活支援団体が立ち上がっていて、草とり、包丁とぎ、付き添い支援等の「お互いさま」の支え合いが広がっています。
- ・保育園等の準備品としての手づくりのバックや、手作りマスク等で地域で支えあう取り組みもあります。



「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」2021年 出展ポスター